

Special Guest

ピリー諸川

ピリー諸川 1957年生まれ

1977年憧れのエルヴィスプレスリーが死去し、自身が東大に行くか、100年に一人誕生するかしないかのエルヴィスプレスリーのような歌手になるのか、どちらに人生をかけるべきか考えた後に、エルヴィス道を選ぶ。

後に、デビュー前のシャネルズ（ラッツアンドスター）のメンバーと出会い、そこで初めて人前で歌を披露する。

これをきっかけに自信を持ち、カントリー歌手のジミー時田氏に弟子入りした後に、さまざまなロカビリーバンドを結成し活動する。

自身のレコードを音楽評論家の湯川れい子氏に渡したところ、見事認められ、1988年に湯川れい子氏プロデュースにより、SUN STUDIOにおいて、エルヴィスのバックアップメンバーとレコーディングし、翌年メジャーデビュー。



なお、SUN STUDIOとは、1954年にエルヴィスがデビュー作「THAT'S ALL RIGHT」を録音したアメリカ南部メンフィスのスタジオである。この時を起源とすると今年がロカビリー誕生70周年であり、ピリー氏は今年7月にメンフィスに訪れ、改めてロカビリー愛を深めてきたとのこと。

私生活では小学校のPTA会長を5年間勤めた後、2008年から8年間保護司を務めた。

2016年からはロカビリーキッズツアーと銘打ってギター1本で子どもたちの施設を精力的に活動した。

2019年NHK Eテレ「ほうかごソング」や「ブレイク」という番組で「六花ピリーベイビー」、「アロハ・クラゲちゃん」が採用され放送される。

2023年12月に、横浜市旭警察署で1日警察署長を務め、ワンマンコンサートを熱演。

ロカビリーをメインにしているが、漫談ロカビリーと言われており、YCV（横浜ケーブルビジョン）で「のんびり一行こう」という番組を14年間続け、現在も人気番組で絶賛放送中！



「私たちが「待つ時間」は、きっと誰かの

声をかけ背中を押し、あきらめずに寄り添い続ける。信じて待つ人の存在は、立ち直りへの大きな力になるだろう。

でも、たとえ時間がかかっても、たとえ過去にあやまちがあっても、誰かと一緒に希望はある。

誰だって、すぐに本音を話せない。誰だって、すぐに希望を抱けない。すぐに変わることができない。

想う、
ときには
足をとめ。



社会を明るくする運動とは？

犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪や非行のない、安全・安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

また、このコンサートは、当該運動の啓発活動の一環として行っております。

